

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月18日 (2010.2.18)

【公開番号】特開2008-237820(P2008-237820A)

【公開日】平成20年10月9日 (2008.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2008-040

【出願番号】特願2007-86513(P2007-86513)

【国際特許分類】

A 6 1 H 7/00 (2006.01)

A 6 1 H 15/00 (2006.01)

A 4 7 C 7/62 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 7/00 3 2 2 D

A 6 1 H 15/00 3 5 0 E

A 4 7 C 7/62

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月28日 (2009.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被施療者の腰掛ける座部と、該座部後端に配備された背凭れ部と、を具え、背凭れ部には、被施療者の背中をマッサージする左右対の施療用エアバッグを配備した椅子型マッサージ機において、

背凭れ部には、被施療者の頭部が当接する部位の左右に、膨張することで頭部を挟み込む頭部保持用エアバッグを配備しており、

該頭部保持用エアバッグを膨張させて、被施療者の頭部を挟み込んだ状態で、背凭れ部の施療用エアバッグを交互に膨張することで、被施療者の上半身に捻りマッサージを施すことを特徴とする椅子型マッサージ機。

【請求項 2】

背凭れ部に配置された左右の施療用エアバッグは、背凭れ部の上側の間隔が広く、下側に向かうほど間隔が狭くなるように、V 字状に配置される請求項 1 に記載の椅子型マッサージ機。

【請求項 3】

背凭れ部に配置された左右の施療用エアバッグ間に、中央エアバッグを配備した請求項 1 又は請求項 2 に記載の椅子型マッサージ機。

【請求項 4】

前記中央エアバッグを膨張させた状態で、左右の施療用エアバッグを交互に膨張させることを特徴とする請求項 3 に記載の椅子型マッサージ機。